



令和5年3月1日

くまのみずき

回覧

茅ヶ崎市立北陽中学校 学校だより

第13号

旅立ちの春

学校の周りの草木の芽もふくらみ、日ごとに春めいてきています。3月は「弥生（やよい）」といわれています。由来は、草木がいよいよ生い茂る月という意味の「本草弥や生ひ月（きくさいやおいづき）」が詰まって「やよい」になったといわれています。そして明後日は3が重なることから重三（ちょうさん）とも言われ、女兒の節句である雛祭りの日です。元々は川で身を清めて不浄を流し取るという習慣から、平安時代には自らの不浄を人形の紙片に託してお祓いを受けたり、後には紙人形に託して川に流す風習に変わり、更にそれがお雛様を飾るという現在の風習に変化してきたようです。



本校では3月8日（水）が3年生の巣立ちの日、次のステージでの活躍への第一歩を踏み出します。今年は47回目を迎える卒業証書授与式です。160名の生徒が巣立っていきます。中学校の卒業式は、9年間の義務教育を終える総決算の場です。『有終の美』という言葉がよく使われますが、3年生は立派に成長し新たな社会に巣立っていくその姿を、保護者の皆様に見せてくれるでしょう。

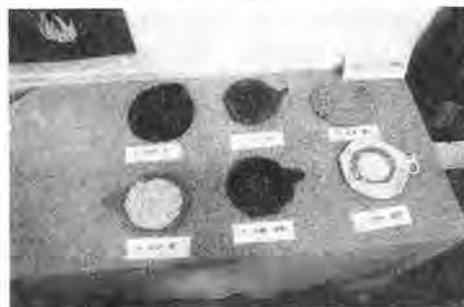
今年度の卒業証書授与式も、まだ通常通りの式ではできませんが、卒業生にとって中学校生活の集大成となる儀式にしていきたいという思いは、いつもの年と全く変わりありません。ご理解とご協力をお願いいたします。

出張授業

2月14日（火）には本校職員が小出小、香川小に出張し、6年生を対象に授業を行ってきました。小出小には、多田先生（理科担当）、小野先生（保健体育担当）が、香川小には、大澤先生（英語担当）、猪俣先生（国語担当）が授業を展開してきました。すべての授業を参観しましたが、6年生はちょっぴり緊張しながらも、中学校の先生の授業に一生懸命に参加していました。この出張授業は、安心して北陽中学校に入学してきてほしいという全職員共通の願いからの取組です。楽しみいっぱい、不安も少しという心境だと思いますが、安心して北陽中学校に来てほしいです。

「みんななかま展」

I組は、2月17日（金）に藤沢市民ギャラリーでの「みんななかま展」を見学してきました。学校から、往路はバスとJRを利用して目的地に到着しました。「スチレン版画」、「鍋敷き」、「お面」を出品しました。見学時間は30分の約束でしたが、20分ほど延長して、何回も回りながら熱心に鑑賞していました。他校の生徒も大勢鑑賞していて、大盛況でした。復路は、JRで香川駅まで行き、徒歩で学校まで戻りました。電車やバスに乗るときのマナーもとてもよく守られていました。



「教育活動に関するアンケート」ありがとうございました

「教育活動に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました。アンケート結果につきましては、「生徒アンケート」の結果などとともに、別紙にて報告させていただきます。いただいたご意見は、令和5年度の学校経営に具体的に生かしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

※来年度の学校教育目標、学校経営計画、重点目標などは4月以降にお知らせいたします。

学校評議員会

今年度の学校評議員会は、令和4年6月、10月、令和5年2月の合計3回開催されました。その時に出ましたご意見、ご助言などをご報告いたします。

- 生徒は落ち着いて授業に取り組んでいる。北陽中は地域にも、自然にも恵まれている。学校での経験を大切に、愛校心を育てて欲しい。
- 中学校で勉強する習慣が身についていくと思う。行事等もあり、頑張りすぎないように見守って欲しい。また、保護者も励ましすぎないように、子どもに寄り添ってほしい。
- SNSを原因とするトラブルがあると聞いている。親に話せない子どももいて、表面からは分からない。生徒の居場所づくりが大切である。
- コロナ感染対策のため、学校行事に参加できなかった事は残念である。しかし、授業スタイルが戻りつつあり、良いことだと思う。
- コロナ禍で学校に行く機会や、中学生と接する機会がまだまだ少ない。地域として、気持ちだけでも関わりたいと思っている。ぜひ、学校からも推進協に連携の要望を出して欲しい。
- コミセン祭りに中学生の手伝いとしての参加や、小出こども大会に中学生の参加があった。今後も地域を「ふるさと」と思ってくれるような企画をしていきたい。
- 地域としてのサポートができない一年だった。今後、これまでの関わり方を工夫しながら積極的に学校に協力していきたい。

学校評議員会を受けての今後の学校の取組

- 各教科の授業において、生徒一人一人の見方・考え方を働かせ、生徒の資質・能力を育成することを目指します。また、授業は学校生活の大きな柱の1つであることから、より質の高い授業づくりのために授業研究や研修会、教員同士で授業を見合うことなどを通して、全教員で授業力向上に取り組めます。生徒一人一人の理解度に即した手厚い授業をめざしていきます。
- 生徒は落ち着いた環境の中で授業に取り組むことができている。行事も制限はありましたが、ほぼ予定通り実施することができました。今後も学習はもちろんのこと、学校行事や地域行事に、生徒が積極的に取り組み、地域を大切に貢献する態度を育てていきます。
- 体験活動を充実させていきます。今年度も、中々地域や保護者の皆様との交流ができませんでした。来年度は、地域や保護者の方々との協働しながら、「地域に開かれた学校」づくりや、地域の行事に積極的に参加し「地域とともにある学校」づくりを目指します。
- いじめのない学校を目指し、多様なあり方をお互いに認め合い、自己有用感を醸成するような教育活動に取り組んでまいります。
- 正門横の掲示板に学校に関する様々な情報をあげたり、学校・学年・学級だより、学校ホームページなどを活用して、学校からの充実した情報を積極的に発信してまいります。
- 本校生徒が安全で安心な学校生活を送れるよう、教育相談等を通して生徒一人一人に寄り添ってまいります。
- 来年度から学校運営協議会も導入されます。学校と地域の皆様とのよりよい連携について検討してまいります。
- 教員の多忙化解消に向けた働き方改革に対して、保護者、地域の皆様のご理解をいただきながら取り組んでまいります。

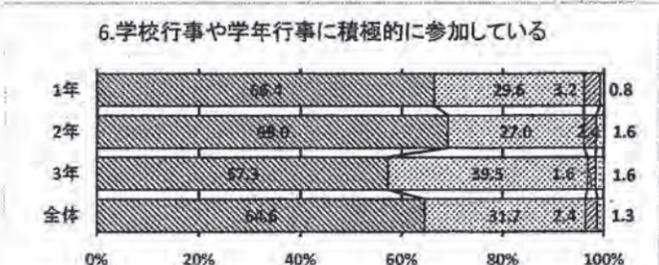
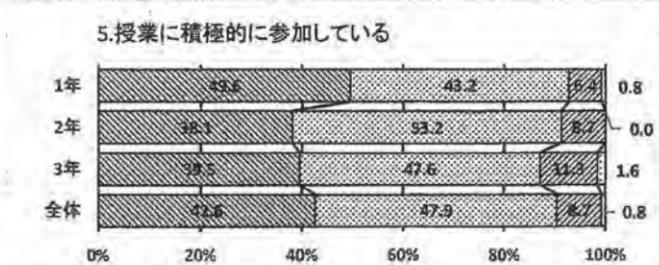
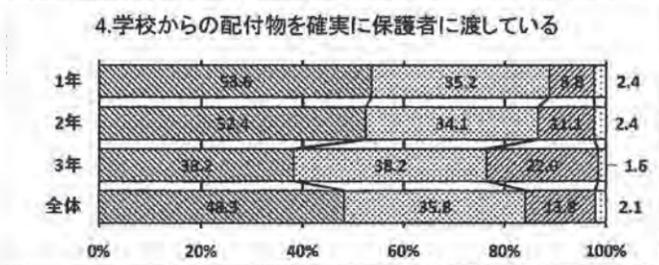
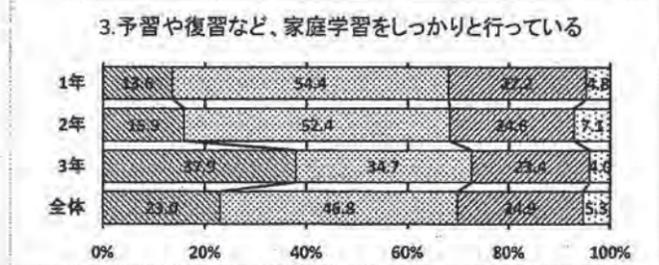
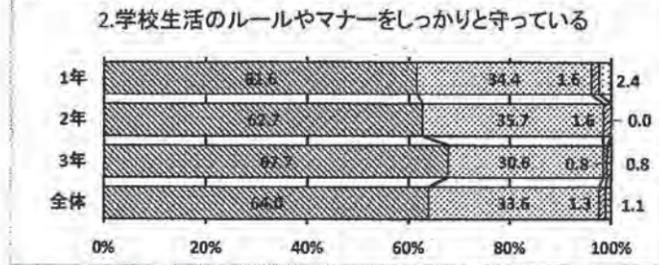
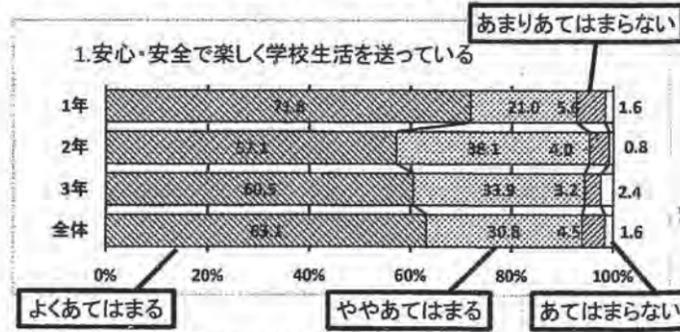
※学校評議員の皆様、1年間ありがとうございました。

令和4年度 教育活動に関するアンケート 集計結果（生徒1～6）

○昨年度と同様、約94%の生徒が、おおむね「安心・安全で楽しい学校生活を送っている」ことが分かります。逆の見方をすれば、約6%の生徒が「あてはまらない・あまりあてはまらない」と回答しています。

今後は、生徒全員が「安心・安全で楽しい学校生活」が送れるように、一人一人が優しさと思いやりをもって生活していきましょう。

もし、困ったことや不安なことがあったら、いつでも先生や心の相談員さんに伝えてください。



○約98%の生徒が、おおむね「学校生活のルールやマナーを守っている」ことが分かります。

各学年ともルールやマナーを、しっかりと意識をもって守っている人がほとんどとなっています。

「学校生活のルールやマナーを守ることは、お互いに「安心・安全で楽しい学校生活」を送れることにつながります。また、「社会生活のルールやマナーを守ることに」もつながっていきます。

今後もぜひ守ってお互いに気持ちの良い学校生活を送りましょう。

○昨年度と比較すると、全体的に肯定的な回答の割合が約7ポイント増加しています。

特に3年生は、「あてはまる」の回答が突出しています。受験生としての自覚が感じられました。1年生から家庭学習にしっかりと取り組む習慣がつけられるようになれば良いと思います。

家庭学習をしっかりと行えていない人は、家庭での予習復習を定着させ、余裕を持って授業を受けるとともに、習ったことの定着を図っていきましょう。

○昨年度とほぼ同じで、約84%の生徒が、おおむね「学校からの配付物を保護者に渡している」ことが分かります。ただし、「あてはまる」だけを見ると全体で約48%となります。

学校からの配付物には、保護者の方々に知っておいていただきたい大切なことが書かれています。

今後は100%目指して確実に渡しましょう。

○全体でおよそ9割を超える生徒が、おおむね「授業に積極的に参加している」ことが分かります。しかしながら、約1割の生徒は積極的に参加できていない様子もうかがえます。

学校生活で最も大切なものの1つは、日頃の授業です。

今後、なお一層授業に積極的に向かい、生徒の皆さんと先生でお互い意識し合い、良い授業を創っていきましょう。

○昨年度と同様、約96%の生徒が、おおむね「学校行事や学年行事に積極的に参加している」ことが分かります。

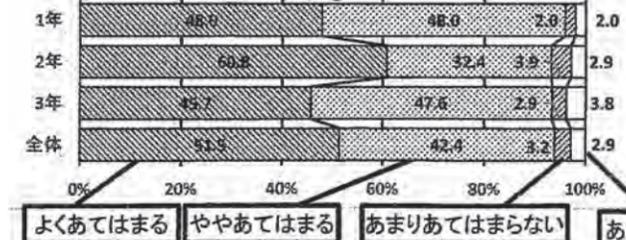
今年度もコロナ禍ではありましたが、宿泊研修、体育祭、修学旅行、合唱祭と大きな行事は実施することができました。

実施できた行事は、生徒の皆さんが積極的に参加して、充実したものとなりました。

今後も一つひとつの行事を大切にしていきたいです。

令和4年度 教育活動に関するアンケート 集計結果（保護者1～6）

1.お子様は、安心・安全で楽しく学校生活を送っている

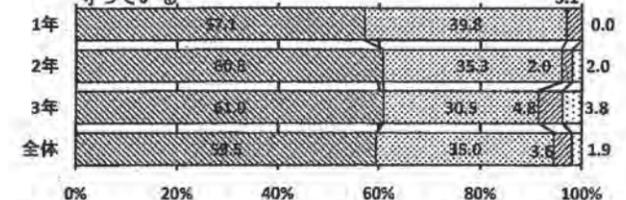


○昨年度と同様、約95%の方が、おおむね「安心・安全で楽しい学校生活を送っている」と回答しています。

しかしながら、全ての生徒が「安心・安全で楽しい学校生活を送っている」わけではないことを重く受け止め、今後も生徒一人一人に寄り添う努力をしていきたいと思えます。

施設・設備の面でも、全職員による安全点検を毎月実施し、安全を確保していきます。

2.お子様は、学校生活のルールやマナーをしっかりと守っている



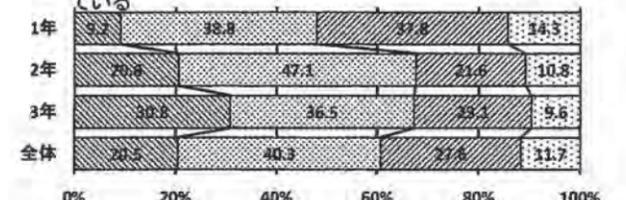
○昨年度とほぼ同様、約95%の方が、おおむね「学校生活のルールやマナーをしっかりと守っている」と回答しています。

日ごろからのご家庭でのお子様へのお声かけ・ご指導の賜物だと考えております。ありがとうございます。

ルールやマナーを守っていくことは、中学校卒業後の社会生活でも重要になります。

今後も継続してご家庭でのご指導をお願いいたします。

3.お子様は、予習や復習など家庭学習をしっかりと行っている

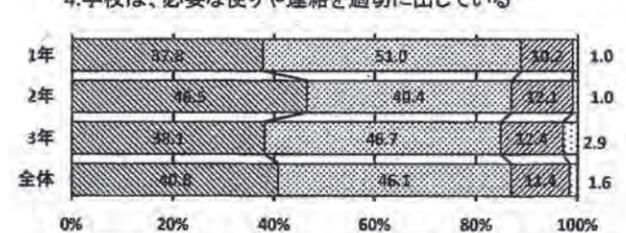


○昨年度とほぼ同様、約61%の方が、おおむね「予習や復習など家庭学習をしっかりと行っている」と回答しています。

今後は、家庭学習の大切さを生徒にしっかりと伝えていきたいと思えます。

一人でも多くの生徒が家庭学習に毎日取り組めるよう習慣となって定着してほしいと思えます。

4.学校は、必要な便りや連絡を適切に出している

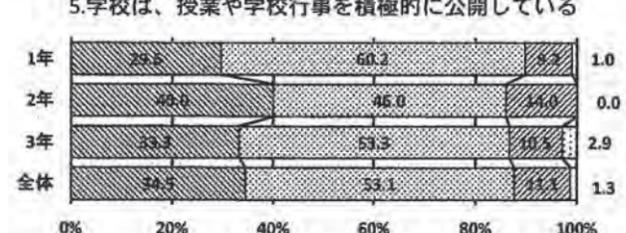


○昨年度とほぼ同様で、約87%の方が、おおむね「必要な便りや連絡を適切に出している」と回答しています。

必要な便りや連絡を適切に出すように、今後も心がけていきたいと思えます。

ご家庭でも、お子様にその日のうちにプリント等を適宜渡すよう、日々のお声かけをよろしくお願いいたします。

5.学校は、授業や学校行事を積極的に公開している

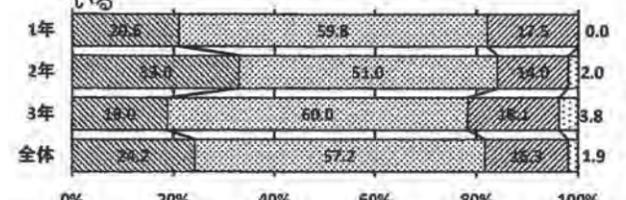


○昨年度とほぼ同様で、約88%の方が、おおむね「授業や学校行事を積極的に公開している」と回答しています。

また、「よくあてはまる」と答えた方は、全体で約35%となっております。今年度もコロナ禍だったため、授業や行事に対してご参観いただくことに制限をさせていただきました。保護者の皆様のご理解とご協力に職員一同大変感謝いたしております。

来年度は、毎日が「学校へ行こう週間(月間)」という意識で、保護者の方だけでなく地域の方にもご来校いただける機会が多くなることを望んでいます。

6.学校では、学校行事や学年行事が活発に行われている



○約81%の方が、おおむね「学校行事や学年行事が活発に行われている」と回答しています。

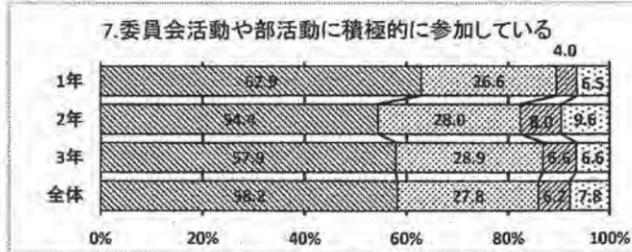
昨年度のおおむね「行われている」との回答を約4%増加しています。

大きな行事が実施できたことと関連していると考えます。

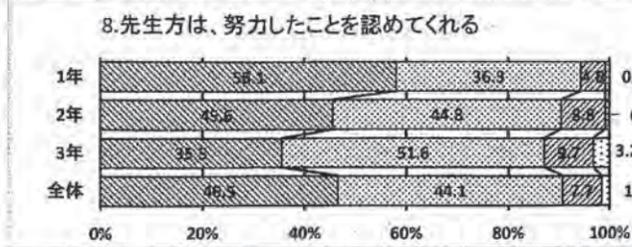
来年度は、コロナが収まり、例年どおりの行事が行えるようになり、生徒たちに素晴らしい経験をしてもらうことを願っています。

令和4年度 教育活動に関するアンケート 集計結果 (生徒7~13)

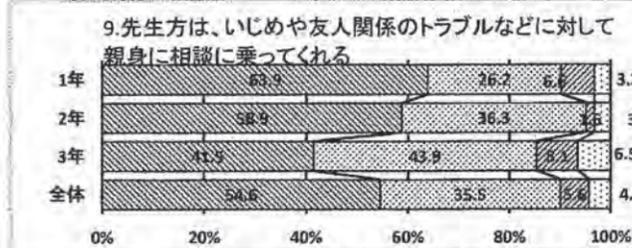
○昨年度とほぼ同様、約86%の生徒が、おおむね「委員会活動や部活動に積極的に参加している」と感じています。
 今年度は、部活動や委員会活動も実施できたためか、「よくあてはまる」と回答した3年生が、62%(R2年度)→84%(R3年度)→86%(R4年度)と増加傾向にあります。
 さらにコロナ禍が収まって、部活動などが制限なく実施できることを望んでいます。



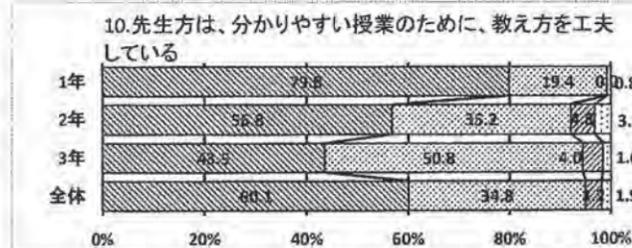
○昨年度とほぼ同様、約91%の生徒が、おおむね「先生方は、努力したことを認めてくれる」と感じていることが分かります。
 しかし、その一方で「先生方は、努力したことを認めてくれない」と感じている生徒が約9%います。
 より一層生徒の行動や努力に対して注目し、適切な言葉がけ等ができるようにして共感していきます。



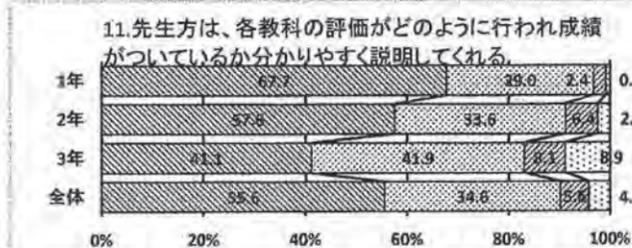
○昨年度とほぼ同様、約90%の生徒が、おおむね「先生方は、いじめや友人関係のトラブルなどに対して親身に相談に乗ってくれる」と感じていることが分かります。
 北陽中学校では年2回、生活やいじめについてのアンケートを行っています。その時に限らず、生徒のみなさんは、何かあったらすぐに、先生や保護者の方に相談してください。いじめを見ている人も同様に相談してください。



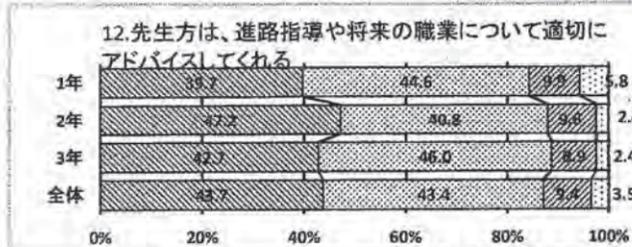
○昨年度とほぼ同様、約95%の生徒が、おおむね「先生方は、分かりやすい授業のために、教え方を工夫している」と感じていることが分かります。
 また、1年生では「よくあてはまる」と回答した生徒が約80%もあり、先生方の励みになります。
 これからも、さらに分かりやすい授業を行うために、先生方も勉強をしながら教え方を工夫していきたいと思えます。生徒のみなさんは、家庭学習にしっかり取り組んでください。



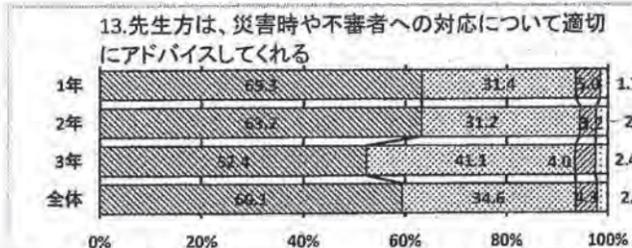
○「先生方は、各教科の評価がどのように行われ成績がついているか分かりやすく説明してくれる」とおおむね感じている生徒が、昨年度と同様に約90%でした。
 昨年度から中学校での評価の仕方が全国的に変わり、生徒のみなさんも2年目の評価ということで、定着しつつあります。
 さらに丁寧でわかりやすい説明をしながら、評価を次のわかりやすい授業の組み立てに活かしていきます。



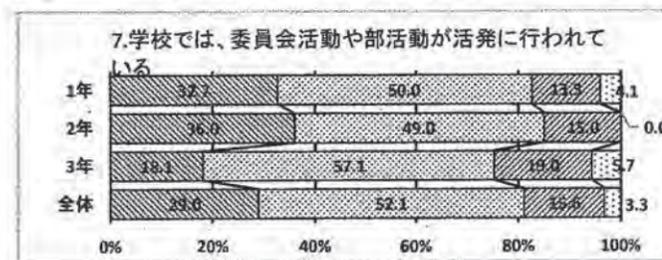
○昨年度と同様、約87%の生徒が、おおむね「先生方は、進路指導や将来の職業について適切にアドバイスしてくれる」と感じていることが分かります。
 中学校3年間では、「キャリア教育」に取り組みます。学校の授業や様々な経験をとおして、将来の職業や方向性についても少しずつ考えていきましょう。



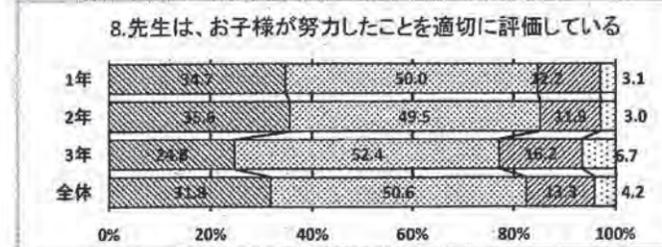
○約95%の生徒が、おおむね「先生方は、災害時や不審者への対応について適切にアドバイスしてくれる」と感じていることが分かります。昨年度よりほぼ4ポイント増加しました。
 今年度は避難訓練や引き取り訓練を実施することができました。予告なしの避難訓練(その場で耐震行動をとる)も行っていました。
 いざというときに役に立つ訓練にしましょう。



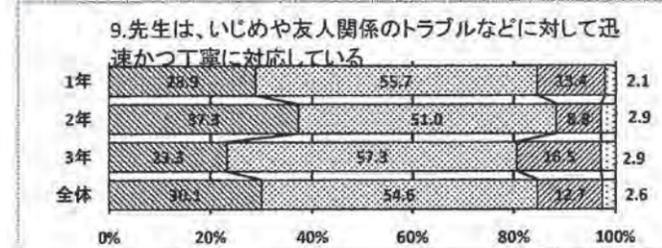
令和4年度 教育活動に関するアンケート 集計結果 (保護者7~13)



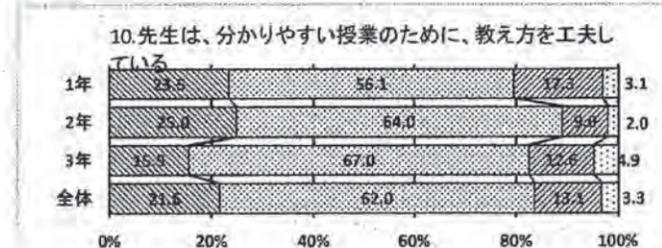
○昨年度とほぼ同様、約81%の方がおおむね「委員会活動や部活動が活発に行われている」と回答しています。
 しかし、3年生の約18%は「よくあてはまる」と回答し、昨年度より約20%近く減少しています。入学してからの3年間で最もコロナ感染の影響を受けてしまった学年です。
 制約なく、のびのびと活動ができるようになることを願っていると同時に、充足感を味わえるような部や委員会の活動にしていきたいです。



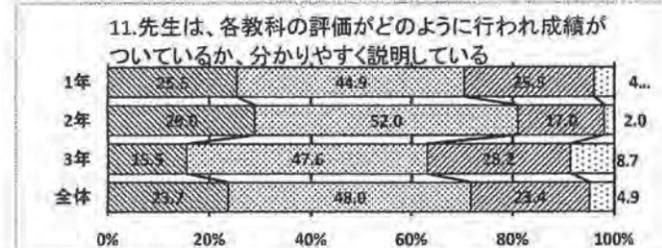
○昨年度、約82%の方が、おおむね「先生は、お子様が努力したことを適切に評価している」と回答しています。
 昨年度に比べて、5ポイント減少しています。
 今後も、生徒の努力を適切に評価することと、その説明を適切に行うことに努めていきたいと思えます。



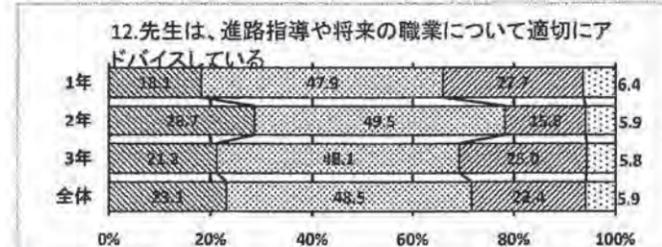
○昨年度とほぼ同様、「よくあてはまる・やや当てはまる」と回答した方が約85%でした。
 全ての生徒が安心して学校生活を送れるよう、今後もいじめや友人関係のトラブルに対し迅速かつ丁寧に対応できるよう努めてまいります。



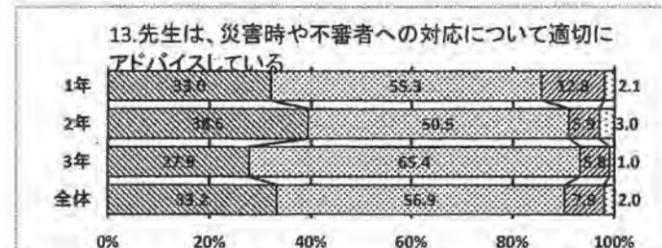
○昨年度より、約84%が、おおむね「先生は、分かりやすい授業のために、教え方を工夫している」という回答をしています。
 ただし、「よく当てはまる」の回答は1・2年生が20%、10%台ですので、教え方を工夫しているかどうかの印象は保護者の皆様にとって弱いようです。
 今後も、全職員でさらなる授業改善・授業力向上に取り組んでまいります。



○約72%の方が、おおむね「先生は、評価や成績のつけ方を分かりやすく説明している」と回答しています。
 昨年度から中学校での評価の仕方が全国的に変わりましたが、保護者の皆様にご理解いただけますよう説明してまいります。



○約72%がおおむね「先生は、進路指導や将来の職業について適切にアドバイスしている」と回答しています。
 しかしながら、まだ昨年度に比べて4ポイント減少していることと約3割の方から否定的な回答をいただいていることを真摯に受け止めたいと思えます。
 今年度は職場体験も実施され、2年生はとても良い経験ができました。「キャリア教育」の中で進路指導や将来の職業について考えを深めることができるよう取り組みます。



○約90%の方が、おおむね「先生は、災害時や不審者への対応について適切にアドバイスしている」と回答しています。
 学校では、毎年度当初に「緊急対応マニュアル」を配付し、災害時の対応を周知しています。
 災害・事故・事件が起きた場合に役に立つ訓練を今後も継続して取り組んでまいります。



令和5年3月24日

くまのみずき

回覧

茅ヶ崎市立北陽中学校 学校だより

第14号

修了式・離任式

今年も桜の季節がやってきております。本日3月24日は修了式とともに離任式も執り行われました。修了式では、『1学年・2学年それぞれの学業が修了したことを祝い、記念し、証明するために、修了証書を交付する。』となっています。本校では、通知票が手渡され、通知票の最後に修了証明文が記載されています。1年生は139名、2年生は152名に修了証書が渡されました。

明日から12日間の春休みを有意義に過ごしてもらい、新2・3年生として良いスタートができるように願っています。4月6日(木)には新入生が入学してきます。

また、修了式後には、今年度でお別れすることになりました教職員を紹介し、離任式を行いました。様々な立場で北陽中学校の生徒のために活躍していただきました。今回は体育館でのお別れの挨拶となりました。この場で、ご紹介させていただきます。

①大澤 直美先生

平成27年4月に赴任し、8年間勤務しました。教科は、英語科で、部活動は生物科学部を担当しました。今年度は、副担任として3年生に所属しました。

②多田 愛先生

平成27年4月に赴任し、8年間勤務しました。教科は、理科で部活動は吹奏楽部を担当しました。この3月には、3年生の担任として卒業生を送り出しました。

③浅原 彩良先生

平成24年4月から勤務しました。教科は、音楽科を担当しました。今年度は、お子さんを育てるためにお休みされていました。

④猪俣 宏樹先生

昨年4月に赴任され、1年間勤務しました。教科は、国語科で、部活動は野球部を担当しました。今年度は、3年生の担任として卒業生を送り出しました。

⑤溝部 真治先生

平成31年4月に赴任され、4年間勤務しました。教科は、保健体育科で、部活動は男子ソフトテニス部を担当しました。今年度は、1年生の担任でした。

⑥上田 誠先生

令和3年4月に赴任し、2年間勤務しました。今年度は、3年生に所属し社会科で、部活動は美術部を担当しました。

⑦大井 恵美子先生

平成30年より、ふれあい補助員や、家庭科の先生、I組の家庭科を担当するなど、北陽中学校で幅広く活躍していただきました。

⑧岩井田 春香さん

令和3年から約2年間勤務しました。学校の事務関係のお仕事を一手に担っていました。

⑨山口 美穂子さん

心の教育相談員として皆さんの心のケアを主に担当しました。3年間勤務しました。

⑩和栗奈津穂さん

ふれあい補助員として、I組や「陽だまり教室」を担当しました。2年間勤務しました。

⑪池永 夕貴さん

同じくふれあい補助員として、I組を担当しました。3年間勤務しました。

⑫渡部 芳子さん

教育施設業務員として、2年間勤務し、主に学校の環境整備を担当しました。



⑬伊東 美子さん

教育施設業務員として、2年間勤務し、主に学校の環境整備を担当しました。

卒業式

3月8日(水)に第47回卒業証書授与式が行われました。ご来賓に茅ヶ崎市教育委員会教育長、茅ヶ崎市博物館長、茅ヶ崎市教育委員会指導主事の3名お迎えしました。教育長からは「とてもいい卒業式でした」とのお話をいただきました。ここで、学校長の言葉を一部ですがご紹介いたします。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今、卒業証書を手渡しながら、みなさん一人一人の表情を間近に見ることができました。とても晴れやかで爽やかな顔でした。

さて、皆さんが入学した年の4月5月は臨時休業から始まりました。その影響で、授業の開始が6月とずれ込み、さらに、みなさんが楽しみにしていた数々の行事も中止せざるを得ない状況になりました。

心の中はたいへん辛かったのではないのでしょうか。それでも、みなさんは一生懸命、前向きに学校生活を送り、3年生となり、1・2年生の良きお手本となるような立派な行動をしてくれました。

3年生の時の体育祭では素晴らしい活躍を見せてくれました。今まで発散できなかったエネルギーを爆発させるかのように、はつらつと、まさに躍動していました。その姿は、観ているひとに感動を与えてくれました。修学旅行での皆さんの楽しそうな笑顔は今でもはっきりと覚えています。

本日、北陽中学校を巣立っていくみなさんへのはなむけの言葉として、「稲盛和夫」さんの言葉を紹介したいと思います。稲盛さんは、「京都セラミック」現在の「京セラ」を立ち上げ、「KDDI」を設立し、「日本航空」会長も務めていました。

この方が、何か物事を判断するとき『利他の心』を判断基準にしていたそうです。

私たちの心の中には「自分だけがよければいい」と考える『利己の心』、「自分を犠牲にしても他の人を助けよう」とする『利他の心』があります。『利己の心』で判断すると、自分のことしか考えないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。

一方、『利他の心』で判断すると「人によかれ」という心ですから、まわりの人たちみんなが協力してくれます。また、視野も広がるので、正しい判断ができます。より良い仕事をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、周りの人たちのことを考え、思いやりに満ちた『利他の心』に立って判断してほしいと思います。そして、それが生涯その人の内面を豊かにし、自分という者を確かにし、生きる力として大きな柱となっていきます。

みなさんがこれから生きていく世の中は、全く想像できなかった世界がすさまじいスピードでやってくるのではないのでしょうか。いかに社会が変化しようと、『利己の心』ではなく『利他の心』を持ち、卒業生のみなさんに豊かな人生を歩んでもらうことを願っています。

さて、最後にみなさんにお願ひがあります。今日は皆さんが新しい社会に旅立つ区切りの日となります。日ごろから保護者の方に対して感謝の気持ちを持っていても、なかなか言葉で表現することができなかったと思います。今までの自分を振り返り、新しい一歩を踏み出す前にこのタイミングだからこそ、ここまで育ててくれた保護者の方に、感謝の気持ちをはっきりと言葉で伝えてください。これはお願ひです。

北陽中学校卒業生160名の、みなさんの今後の幸せを願ひ、お祝ひの言葉といたします。

祝優勝

東日本U15中学生ラグビーフットボール選抜大会で、2年生の野中あい琉さんが所属する神奈川女子選抜が見事に優勝しました。おめでとうございます。

保護者・地域のみなさまありがとうございました！

この1年間、保護者のみなさまには、本校の教育活動にご理解をいただき、様々な場面でご支援、ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年度も、地域や保護者のみなさまとともに、生徒のために何ができるかを第一に考え、教職員が同じ方向を向き大切なお子様を育てていきたいと考えております。引き続き変わらぬご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。